

2017年度精密工学会春季大会シンポジウムのご案内【大会第1日開催】

大型構造物の寸法計測 (光計測技術の最前線)

開催日 2017年 3月 13日 (月)

主催:公益社団法人精密工学会メカノフォトニクス専門委員会(委員長:関西大学 教授 新井 泰彦)

自動車ぐらいのサイズからさらに大きな機械構造物, インフラ構造物など, 精密な寸法計測が必要な分野は多くある. 近年の特殊な構造物になると, 光応用計測の新しい技術が期待されている. たとえば, 近くに建設が計画されている次世代超大型望遠鏡(TMT)の構造や, すでに実用化されている大型のロケットにおいても精密な計測は必要とされている.

本シンポジウムでは, 大型構造物向けの計測装置の紹介や, 大型望遠鏡や大型ロケットなどの宇宙製品, さらに建物や土木建造物などの巨大構造物における計測技術について, 実際の現場で活躍されている方々を中心に講演をいただき, 今後の展望について議論を行う.

開催日時 2017年 3月 13日(月) 13:10 ~ 16:50

会場 慶應義塾大学 矢上キャンパス 春季大会講演会場内(14棟 1F) G室

プログラム

司会 福井大学 藤垣 元治 氏

時間	講演題目	講師
13:10 ~ 13:15	シンポジウム企画のご挨拶	福井大学 藤垣 元治 氏
13:15 ~ 13:55	リアルタイム計測可能な超高速3Dレーザスキャナシステムの紹介	ビュープラス 高橋 将史 氏
13:55 ~ 14:35	大口径光学素子の新しいステッチ計測方法	キヤノン 根岸 真人 氏
14:35 ~ 15:15	次世代超大型望遠鏡の構造と製造における計測技術	日立造船 中谷 光良 氏
15:15 ~ 15:30	(休憩)	
15:30 ~ 16:10	宇宙製品における光計測技術の応用について	三菱重工業 渡邊 絢一 氏
16:10 ~ 16:50	建物や土木建造物のような巨大物体の三次元計測	計測リサーチコンサルタント 西村 正三 氏